

えしました。門松はそのための準備です。神にお供えしたものを混ぜて食べるものが雑煮です。雑煮に使う箸は両方が細くなっていますが、神と一緒に食べている事を意味します。

ところがたまに来るだけでは困るので、神を祭る場所ということで神社が出来ました。神社には鳥居がありますが昔は神仏混合で寺にも鳥居がありました。明治以降神仏分離が行われ、神社と仏教は別々になりました。

パンフレットで示した通り、鳥居にもいろんな形があります。伊勢神宮は神明鳥居で基本的な形です。一番多い形は明神鳥居で、笠置を乗せて反りを付けたものです。



神社建築は本殿の建物を言います。妻入り（縦の方向から入る、出雲大社など）、平入り（横から入る、伊勢



神宮など)があります。千木というのは柱を組んだ木が屋根に出たもので、神社特有のものです。今では伊勢神宮でしか見られませんが、それ以外は角の部分だけを置いた置き千木です。また千木には内そぎ(横に切ったもの、女神)と外そぎ(縦に切ったもの、男神)があります。鯉魚木も偶数(女神)と奇数(男神)があります。

拝礼をするときは、榊(境木、神社との間に植えられた)は祈りを込める意味があり、玉串の際にはいただきましたら右手を上から、左手を下から根本を右手に持ち、これを右手を引いて立てて、ここで祈念します。上の手を下に下げて時計回りに回して両手を添えて供えます。2拝2拍手1拝が基本です。



今私の所の神社では梅が大変きれいに咲いています。たくさんのお年寄りが見に来ています。これを見えすと、神社はいいなあと思い



ます。静かな佇まいがあって木があって天気が良くてそして神様と一緒に自分が今あるのです。非常に穏やかな表情です。これが神社でしか体験できないと思います。高齢社会が進めばますます重要になる場所だと思います。松原にも16ほど神社がありますので、もう一度神社を中心に親を大事にする心神に感謝する心を若い人にも引き継いで頂きたいと思います。ご清聴ありがとうございます。

(週報担当 会報委員会)

ニコニコ箱	SAA	上野忠義
・卓話の御礼をニコニコ箱へ	妻屋	宏様
・会員誕生日内祝	石崎、泉本(雅)	落合、西田(幸)
・結婚記念日内祝	泉本(信)、岡田(安)	河村、増田、森田
・創立記念日内祝	築山、森田	
・奥様誕生日内祝	西浦	
・楠原会員ありがとうございました	松谷	
・泉本(雅)会員にお世話になりました	松本	
・バッチ着用忘れしました	和田	
・紹介で言葉が足りませんでした	二木	
・間違えました	福田(資)	
・御祝いの時、名前間違えて	上野	
・早退お詫び	松谷	
・遅参お詫び	西田(幸)	
	(各会員)	
小計	78,000円	(累計 1,908,280円)
	今年度目標達成率	76.33%

近隣クラブ例会変更のお知らせ

幹事 和田一義

クラブ	日	時	場	所	備	考
富田林RC	3/ 6(木)	3/ 2(日) 9：00～	石	川	石	川 大 清 掃
河内長野東RC	3/12(水)	3/15(土) 7：30～	観	心	寺	観心寺早朝清掃例会
	3/26(水)	3/29(土)18：00～	河内長野市キックス4F			河内長野RCとの合同例会
河内長野RC	3/21(金)	休会			祝	日
	3/28(金)	3/29(土)18：00～	河内長野市キックス4F			河内長野東RCとの合同例会

今週のプログラム

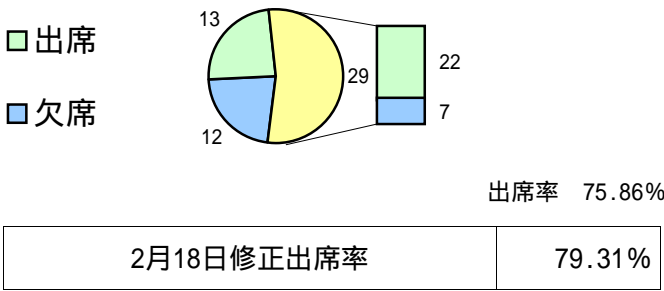
第1894回例会

＊ 日	時	平成15年3月11日(火曜日)
		12時30分～13時30分
＊ 司	会	(S A A)
＊ ソ	ン	グ (唱歌委員会)
		「日も風も星も」
＊ お客様の紹介		(親睦委員会)
＊ 出席報告		(出席委員会)
＊ 諸 報 告		(会長、幹事、各委員会)
＊ 卓	話	はちまるにいまる 「8020について」 岩間総一郎会員
＊ クラブ協議会(4)		(13：40～)

先週の例会では

第1893回例会

・ 日	時	3月4日(火曜日)
・ 出席報告		(松本出席委員長)
		会員数 54名
	出席免除会員数 25名	出席義務者数 29名



次週以降のお知らせ

＊ 3月18日(火)

・卓話「歴史を今に伝える
街道を歩く」西田湖司会員

＊ 3月25日(火)

・卓話「羊について」西田幸司会員

・定例理事会(13：40～)

＊ 4月 1日(火)

・卓話「平成15年度松原市予算について」
松原市助役 以倉正一様
(泉本信春会員紹介)

＊ 4月 8日(火)

・振替休会(4/12 春季親睦会にて例会)



屯倉神社の梅

会 長 の 時 間

会長 落合良生

3月のロータリー

弥生、3月春の息吹が感じられる季節になりました。今月は米国ノース夏洛ットRCの提唱で、ノースカロライナ大学に最初のローターアクトクラブが1968年3月13日に結成されたのを記念して、13日を「世界ローターアクトの日」その日を含む一週間を「世界ローターアクト週間」に指定されております。ロータリーの青少年への関心は最初は貧しい苦学生に対する奨学金制度でしたが、やがて与える奉仕から育てる奉仕に目を向け職業訓練所や身体障害者の養護学校の設立運動となりました。そして1960年代に入りロータリー自身がクラブ制度により立派なロータリアンをそだてていることに鑑み、良き指導的な若者を育成しようとインターアクトクラブ・ローターアクトクラブが提唱されました。「ROTAR ACT」の名称は「ROTARY ACTION」から来ています。明日を担う幅広い人間性と温かい心をもった若者が、一人でも多く育つことを願いながらACTIONをつづけていかなばなりません。

ゴッホの絵

先日競売されたゴッホの油彩画「農婦」私でも一見なんとあの絵が暗い、汚い、などと、評価されかねない絵である。それがゴッホの作と認められたとたんに、一万円程度の予定が6,600万円にはね上がった。実際にゴッホの作品の評価は生前極めて低かったようで、彼の死後作品を捨ててしまいなさいと周りが遺族に勧めたほどだったそうです。今も彼の作品だと知らないでどこかの居間に彼の絵を飾っている人がいるのではないかという話も流れる。こんな例がある。ゴッホがスコットランド人画商の肖像画を描き本人に贈った。画商の父親が「こんな駄作だ」として5ポンドで売ってしまった。今なら50億円を下らないだろうというその絵は、一世紀以上も行方不明のまま。私達にはわからないが、作品の魅力を鋭く見抜いたのではないかと、想像するばかりだ。

幹 事 報 告

幹事 和田一義

来月の26日27日に行われる地区大会の案内が参っております。皆様の席にパンフレットをお配りしております。大会第一日目は会長幹事部門懇談会になっています。

会員の皆様は大会第二日目にご参加をお願いし

ます。登録受付は午前九時からで、会場はリーガロイヤルホテル堺です。ただ今から回覧をしますので多数の出席をお願いします。

委 員 会 報 告

雑誌・広報委員会

委員長 河村忠成

以前、産経新聞に連載されました2640地区各クラブのボランティア活動が『共に歩む』という小冊子にまとめられ、新聞社のご好意により発刊されました。各会員に戴いていますので、『ロータリーの友』3月号と共に各自のBOXに入れてあります。お持ち帰りの上、是非お読みください。また、本地区関連の記事の紹介を回覧しますのでご覧ください。

ローターアクト委員会

委員長 寺下邦彦

来る3月16日（日）恒例の清掃奉仕を行います。参加される方はAM9時商工会議所会館前にお集まりください。

当RCも主催者です、ふるって奉仕活動にご参加・ご協力お願い申し上げます。

ゴルフ部

部長 河村忠成

13日（木）の第3回クラブコンペの申し込みは本日で締め切ります。今回は13名の参加を戴いています。明日以降はキャンセルフィーがかかりますのでご注意ください。

卓 話

「高齢社会と神社」

屯倉神社 宮司 妻屋 宏 様

【紹介者 石崎 勇】

【略歴紹介】

昭和34年 大阪学芸大学 卒業。その後教育畑に勤められ、小学校の教諭、教育委員会などに勤められ、昭和53年には屯倉神社の宮司になりました。54年には再び教育委員会に出向、社会教育課に専任、松原市教育委員会学校部長に就任。その後校長に就任。平成8年に退職。

当神社の梅を見に来ていたお年寄りを見て、高齢社会の中での神社の役割をふと考えていましたのでお話ししたいと思います。

10年前、母の日に子供がこんな作文を書いてきました。『僕はお母さんが大好きです。だからお母さんの言うことは何でも良く聞きます。お母さんが一番望んでいることは、僕がしっかり勉強することです。だから僕は一生懸命勉強していい中学校へ入り、それからいい高校へ行って、一流の大学に入ります。それから大きな会社に入ってしっかりお金を貯めて**お母さんを立派な老人ホームに入れてあげます。**』やはり最後の文章が引っかかります。ここには親と子供のつながりがどれほどあるのでしょうか。当時心配して、しっかり子育てしなければ、こういう事になるのではないかという話でこの作文を出しました。10年たった今、まさにこのような現象が起きています。

昔は3世代一緒に住んでいた。お互いにすこしずつ我慢しながら相寄って生活をしていました。その中では人と人とのつながり、人への思いやりが育っていたと思います。生活が豊かになり、自分以外の人間は必要ないという考えが生まれてきたようです。介護が必要になると施設に入れようという考えになってきています。お互い我慢の心が少なくなっています。

先の作文のように立派な老人ホームに入れてやると思うことはまだましで、これからの世代は、公の施設がどこでも見てくれるからその方がいいのではないかという考えが出てくるのではないかと危惧します。もっと人と人、親子のつながりがあっていいと思います。

私も孫が出来る歳になりましたが、一番うれしいのは、子供が親切にしてくれることです。食事に連れて行ってくれたりすることが歳をとったものにとってはうれしいことです。でも時代の波には逆れません。

骨粗鬆症が大変話題になっていますが、ある人がお医者さんに聞かれたそうです。『最近なぜ骨粗鬆症が増えたんですか。』すると医者は『公には言えませんが、長生きしているんです。誰でも年を取れば骨は悪くなります。今までは悪くなる前に死んでいました。今はなかなか死なない。』こんな風に言われたそうです。ホントか嘘か分かりませんが、これだけ人間が長生きしてくると価値判断も変わってきます。介護施設は十数年前にはそんなにありませんでした。だからお互い自分の家で親の面倒を見て、最後まで見届けた。たとえそのような施設が有ったとしても恥ずかしいと思うような時代でした。

しかし、もう少し親を大切に作る気持ちが必要だと思います。その元になるものは、敬神崇祖と言って神を敬い祖先を崇拝することだと思います。神社はこの考えの元に成り立っています。神社は布教をしませんし、説教もしませんので、神社の考えはなかなか人々に浸透しません。逆に言うと人々の生活の中に神社というものが入り込んでいるのかも知れません。

神社というのは元々自然信仰で、人の手におえないものへのおそれ、敬いから始まっています。神には自然神と人間神が有ります。分類は他にもあり、生活や田作りの神などの機能神、天災や病から守って頂く守護神。こういった人間の生活に結びつく形で神社というものが起こってきました。

世界の3大宗教を比べてみても、神社というのは実におおらかです。キリスト教やイスラム教はイエスキリストやアラーを唯一最高の神と称えます。現在の中東問題もここに根差した所があります。仏教も以前は釈迦を中心に布教されました。小乗仏教は今もこの流れを引き継いでいますが、大乘仏教は、中国・朝鮮と伝わっていく間にその地方の文化を取り入れて変わってきました。だから如来も菩薩もいるし、日本で布教された大師(弘法大師等)も奉っている。かなり日本的な仏教に変わってきています。それに比較して神社は多種多様な神が奉られています。



また、神さんの中には実にデタラメなものもあります。「古事記」によりますと、伊耶那岐・伊耶那美の話があります。天の神様から国を作りなさいと言われました。その二人が天の浮橋に立って沼矛で掻き混ぜて、落ちたしずくが積もり積もったものがおのこる島です。

底に天の御柱と八尋殿を立てて新婚生活を始めました。そこで伊耶那岐が伊耶那美に「あなたの体はどんな風にできているのですか？」と尋ねると、「私の体は、一つだけ足りないところがあります」と答えた。伊耶那岐は「私のからだは、一つだけ余っているところがあります。私の余ったところと、貴女の足りない所をあわせてみてはどうでしょうか」と誘うと、伊耶那美はこくりと頷いた。二人は天の御柱を回って、結婚しようということになった。しかし、その時に女性である伊耶那美から声をかけてしまった為に、生まれたのは骨のない水蛭子だった。悲しんだ二人は、水蛭子を葦の船に乗せて海に流してしまふ。その水蛭子は摂津の西の浦(西宮)に流れ着いて、夷三郎という名をもらい三郎大明神になり、これが恵比寿様の元だと言われています。その後の子供は淡路島・伊予(四国)、筑紫(九州)、隠岐、伊岐、津島、佐渡、大倭豊秋津島(本州)これにより日本の大八島が出来ます。最初の国作りから神様は失敗したのです。

神は失敗を繰り返している点で人間と近い存在であるということで、神社神道が成り立ってきています。宗教と言うよりも生活の一部だという意識で発展してきたものです。

最初は、稀人神(遠い所からたまに来る神)をお迎